

【東京都港湾局】

「新材料・新工法データベース」に登録！

登録番号 22010

水中不分離硬化形モルタル

TJ Attack 水中モルタル

用途

- ①各種コンクリート構造物の淡水・海水中での欠損部補修(常時水中にあるコンクリート構造物の底版部分)
- ②淡水・海水中でのグラウト注入前の大きな不陸の補修(常時水中にあるコンクリート構造物の底版部分)

特長

- ①淡水・海水中での材料分離が少なく、高強度で優れた耐久性を發揮します。
- ②淡水・海水中での作業性に優れ、補修が容易に行えます。
- ③コンクリート及びモルタルへの付着性に優れます。

使用方法

- ①施工する箇所の脆弱部を完全に除去します。
- ②アタック水中モルタルを均一に練り混ぜ、静水中で欠損部へ圧着してください。ただし施工箇所については底版部とし施工箇所が垂直面等の場合は、型枠設置によるアタック水中グラウト施工をお勧めします。
- ③充填後は硬化するまで流水、波などで洗われないように適切な方法で養生を行ってください。

使用上の注意事項

- ①材料特性上、気中での施工の場合、乾燥収縮ひび割れを生じますので、水中での施工を行なってください。
- ②粉体の取り扱いにはセメントに準じて行ってください。
- ③破袋または開封後、放置した製品は使用しないでください。
- ④練り混ぜ水には上水道水を使用してください。
- ⑤製品が皮膚に触れた場合などには、セメントと同様に処置してください。

取り扱いに関する詳細な注意事項は、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

荷姿



● 粉体……20kg/防湿袋入り

標準仕様

1袋当たりの標準練り上がり量			標準施工厚さ		1m ³ 当たりの使用量		可使時間
粉体 (kg)	水 (kg)	練り上がり量 (ℓ)	1回当たりの施工厚さ (mm)	1袋(調合物)当たりの施工面積 (m ²)	粉体 (kg)	水 (kg)	20°C
20	3.6	約 11.1	底版部分 10~50	10mm厚:約 1.1 50mm厚:約 0.2	1,800(90袋)	324	60分

アタック水中モルタルの物性値と性能

項目	試験値		試験方法	
	水中作製	気中作製		
フロー値 (mm)	—	120	JIS R 5201	
単位容積質量 (kg/ m ³)	—	2,129	JIS A 1116 に準拠	
曲げ強さ (N/mm ²)	材齢 28 日	6.1	7.1	JIS R 5201 に準拠 (20°C・水中養生)
圧縮強さ (N/mm ²)	材齢 28 日	51.1	54.5	JIS R 5201 に準拠 (20°C・水中養生)

注) 曲げ強さ及び圧縮強さ試験の供試体作製方法及び養生

- 水中作製：型枠(4×4×16cm)の上面までの水深が5cmとなるように水槽中に設置した型枠に、モルタルを充填。充填後24時間湿空養生。次に、測定材齢まで、水中養生。
- 気中作製：気中で作製する以外は、水中作製供試体と全く同様に行った。

水中に投入した時の状態



テクノスジャパン株式会社

■本社 〒673-0028 兵庫県明石市硯町3丁目4番7号 TEL(078)924-1234(代) FAX(078)924-0050

<http://www.technosjapan.com>